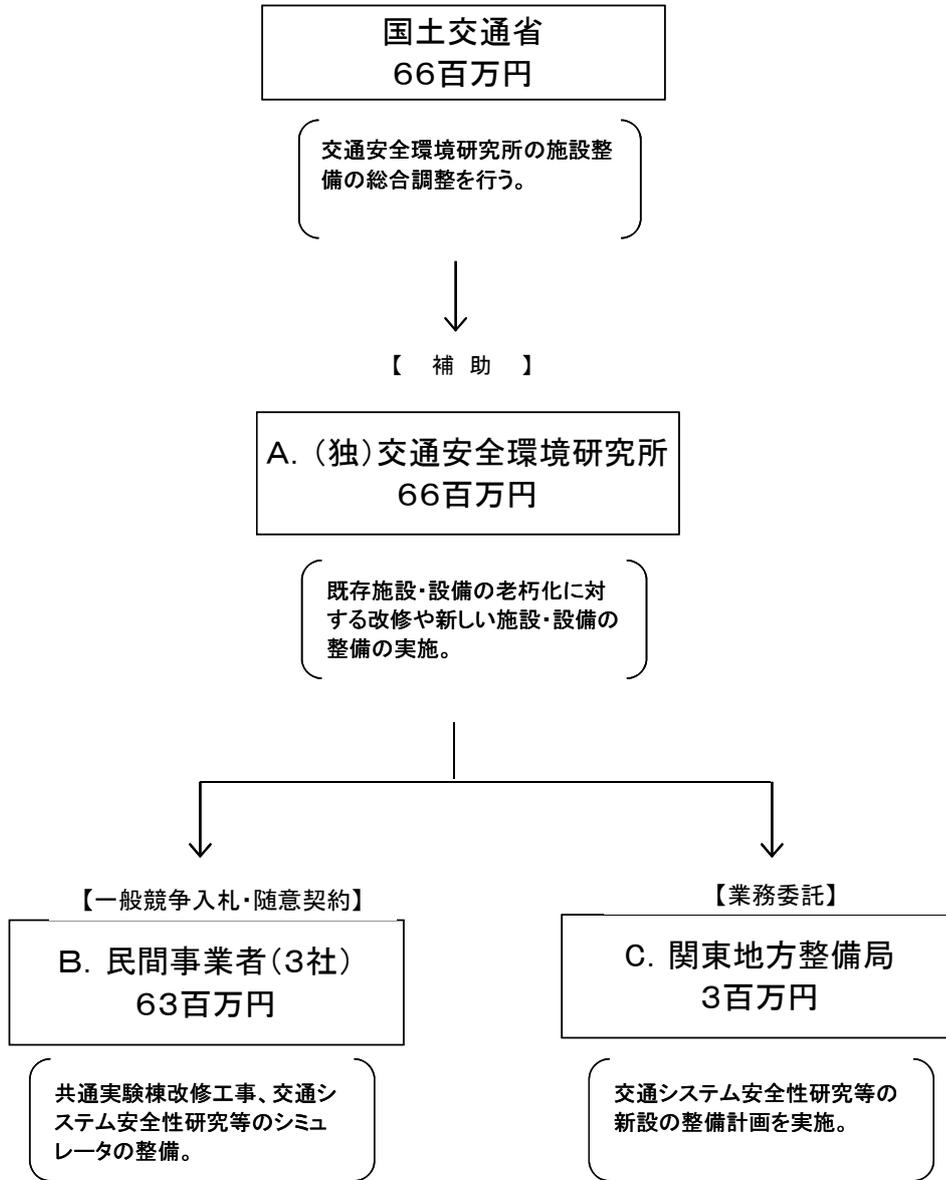


行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	(独)交通安全環境研究所施設整備費 (一般勘定)		事業開始 年度	平成13年度		作成責任者
担当部局庁	自動車交通局		担当課室	技術安全部技術企画課		課長 和 迩 健二
会計区分	一般会計		上位政策	技術研究開発を推進する		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人交通安全環境研究法)		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	交通安全環境研究所に運輸技術のうち陸上運送等に関する安全の確保、環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保等に資する調査、研究及び開発等を行わせるための施設等の整備に必要な経費。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	運輸技術のうち陸上運送等に関する安全の確保、環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保等に資する調査、研究及び開発等を行うための施設について、老朽化に対する改修や新しい施設・設備の整備を行う。					
実施状況	平成19年度 3件(燃料・高圧ガス貯蔵設備新設工事・共通実験棟改修工事・事務庁舎耐震改修工事) 平成20年度 3件(共通実験棟改修工事・事務庁舎耐震改修工事・交通システム安全性研究棟新設) 平成21年度 2件(共通実験棟改修工事、交通システム安全性研究等の新設)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	59	130	100	92	46
	執行額	47	107	66		
	執行率	79.6%	83.0%	66.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	交通安全環境研究所においては、契約については一般競争入札によることを原則としている。さらに、収入支出管理を厳正に行っており、支出先及び用途の把握は確実になされている。				
	見直しの 余地	これまで、契約監視委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取組を行ってきており、今後も引き続き適切な予算執行の確保を図ることとしている。				
予算 監視 の 効 率 化	【一部改善】 本事業の実施に当たり、競争性のある契約方式の活用を徹底するなど、引き続きコスト削減を図るべき。					
補 記	【予算科目】 098 独立行政法人交通安全環境研究所施設整備費 13 独立行政法人交通安全環境研究所施設整備に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) 13054-1305-16 独立行政法人交通安全環境研究所 100百万円 66百万円 施設整備費補助金					

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載す  
 る。使途と費目の双方で実情  
 が分かるように記載)

A.(独)交通安全環境研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	施設改修工事等	63			
外部委託費	施設改修事業委託	3			
計		66	計		0
B.沖島工業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	施設改修工事	51			
計		51	計		0
C.関東地方整備局			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
一般管理費	事務費等	3			
計		3	計		0
D.(株)塩見設計			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

【別紙】

B.民間事業者(3者) 63百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	沖島工業(株)	51
2	三菱プレシジョン(株)	10
3	大石建設(株)	2
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		